

豊橋市まちなかウォーカーブル基本計画
(駅前大通り)

令和6年2月

豊橋市 まちなか活性課

●まちなかウォークアブル基本計画、対象路線の位置づけ

■まちなかウォークアブル基本計画の位置づけと整備コンセプト

本計画は、産学官金民で組織された「豊橋まちなか未来会議」において策定する未来ビジョンと連携し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの空間創出を進める駅前大通りを東三河の玄関口にふさわしい通りとするため、歩道空間の充実を図る整備の方向性を整理したものである。

未来ビジョンで描かれた“未来に向けたシンボルロードの実現”のためには、今後関係機関との議論を含めながら段階的に計画の具体化と実現を目指す必要がある。また、市民ワークショップでは早期に改善が必要な身近な課題も提起されている。

そこで、本基本計画を「未来ビジョンの実現に向けて、短期的に達成できる課題解決と歩行空間の質の向上にむけた計画」、本計画に基づく整備を「その成果や効果をフィードバックすることで、未来ビジョンの妥当性検証や見直しを行う短期的整備」と位置付けるとともに、本計画で実現する整備コンセプトを「歩行環境の向上に焦点を当てたスピード感のある最初の一步」とする。

未来ビジョン

未来に向けたシンボルロードの実現

- 過去から現在をつなぎ、そして未来へとつながるシンボルロードへの転換
- 多様なモビリティの接続—路面電車、バス、タクシー、自転車、歩行者、次世代モビリティ
- グリーン&サステナブルなみちのデザインと機能、仕組み

<その他、駅前大通りのワーキングで出た意見>

- 駅からシンボルタワー、その先の山までをつなぐ風格のあるランドスケープの実現
- 大胆な自動車から歩行者への空間の転換「駅前大通りの公園化」



ビジョンで描かれた将来像にむけ、
関係機関との議論を含めながら
段階的にその具体化と実現を目指す必要

市民ワークショップでは、
より身近な課題が提起されており、
これらは早期に改善が必要
(舗装・滞留施設・植栽・交通混在など)

基本計画の位置づけと整備コンセプト

位置づけ：未来ビジョンの実現に向けて、短期的に達成できる課題解決と歩行空間の質の向上にむけた計画
整備の成果や効果をフィードバックすることで、未来ビジョンの妥当性検証や見直しを行う短期的整備
整備コンセプト：

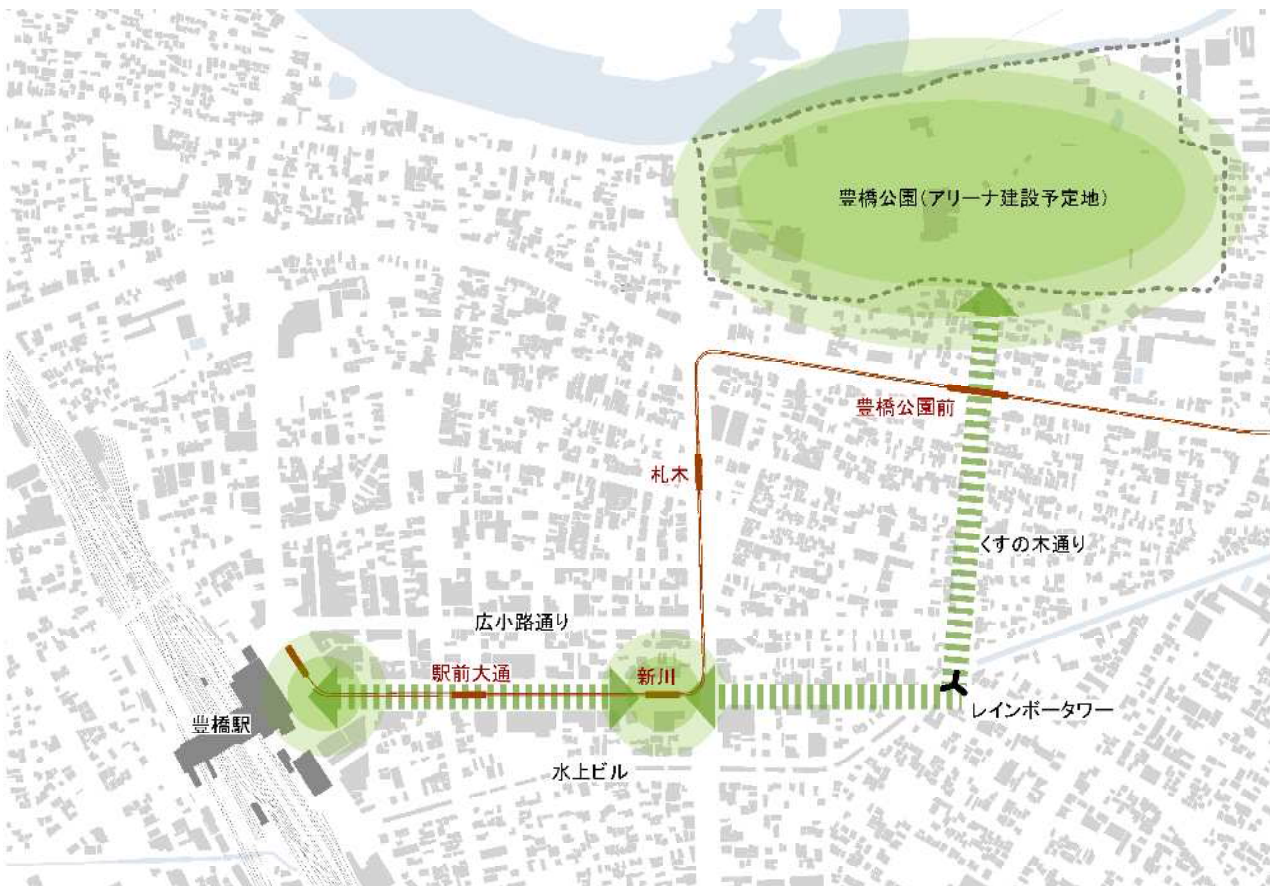
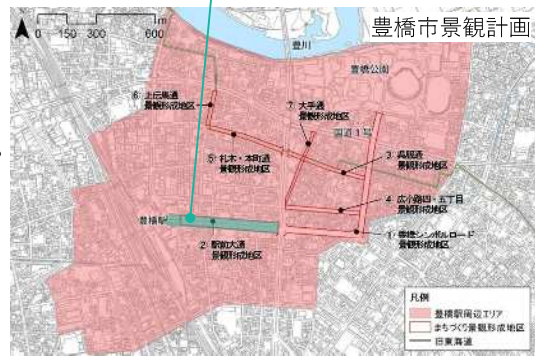
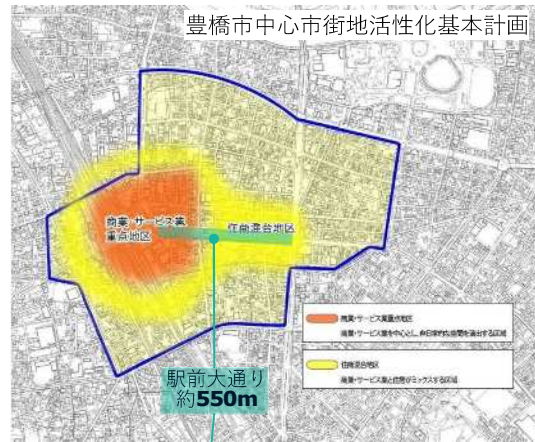
歩行環境の向上に焦点を当てたスピード感のある最初の一步

■対象路線の位置づけ

「第三期豊橋市中心市街地活性化基本計画」では、望まれる中心市街地の姿として、豊橋駅を核とした駅前大通一丁目を含む一帯を、商業・業務・サービス機能の集積拠点である「商業・サービス業重点地区」、その周辺と東側区域の駅前大通二・三丁目を含む一帯を、都心居住者や市民の生活を支える生活商業機能を配置して都心居住を促進する「住商混合地区」と位置づけている。また、これらを実現するため、中心市街地のにぎわいの拠点をつなぐ「通り（軸）」を、居心地が良く歩きたくなる空間になるよう、官民連携により積極的に進めるとしており、駅前大通りは「商業・サービス業重点地区」と「住商混合地区」を跨ぐ中心的な街路である。

また「豊橋市景観計画」では、駅前大通りは「駅前大通景観形成地区」に位置付けられ、新川交差点から豊橋公園までの「豊橋シンボルロード景観形成地区」と一連となり、豊橋駅から豊橋公園を結ぶみどり豊かな街路景観を形成している。

これらを踏まえ、駅前大通りを「緑・活動が集まる豊橋のシンボル」と位置付け、豊橋の玄関口として豊橋らしさを象徴する空間とすることを目指す。



1. デザインコンセプト

■デザインコンセプト

- 駅前大通りの位置づけ「緑・活動が集まる豊橋のシンボル」に加え、水上ビルや広小路通りなど周辺エリアとの更なる連携向上を期待し、「緑がつながる／つなげる回廊」という意味を込めて『とよはしグリーンコリドー』とする。

■ゾーニング

- 商業系用途が主体の豊橋駅周辺から、emCAMPUSのある中間部、業務系用途が主体の新川交差点付近へと変化する沿線特性を踏まえ、豊橋駅～emCAMPUS、emCAMPUS～新川交差点の2つの区間を設定する。

豊橋駅～emCAMPUS「活動と滞在のエリア」

- まちの玄関口である「豊橋駅」とまちなか図書館などの集客施設や居住施設のある「emCAMPUS」までの区間は、周辺エリアと連携してまちの中心となることを期待する区間である。
- そこで、「活動と滞在のエリア」のコンセプトのもと積極的な空間利活用を促す。

emCAMPUS～新川交差点「緑のジャンクション」

- 業務系用途が比較的多い「emCAMPUSから新川交差点の区間」は、住商混合した落ち着いた雰囲気を大切にする区間である。
- 駅前大通りの東端に位置する新川交差点は、市電が折れ曲がる地点であり、また駅前大通りに隣接する「豊橋シンボルロード景観形成地区」への接続地点でもある。加えて、新川駅も位置するこの区間は、移動の結節点としての役割を担っている。
- そこで、「緑のジャンクション」のコンセプトのもと緑を主体とした落ち着いた空間を目指す。

■計画の具体方針

- 計画を実現するための4つの具体方針を設定する。

■駅前大通り歩道デザインのコンセプト

緑・活動が集まる



周辺エリアと連携してまちの中心となる「活動と滞在のエリア」

- ・駅からつながるまちの玄関口として、積極的な空間活用を促す区間。
- ・歩行空間と自転車通行空間を除いた、利活用や滞在が可能なエリアは舗装の切り替えや統一した色彩により分かりやすく象徴的にデザイン。
- ・沿道施設やまちなか広場との結びつきを高め、活動や滞在を支えるデッキやファニチャー、緑陰空間を設置。

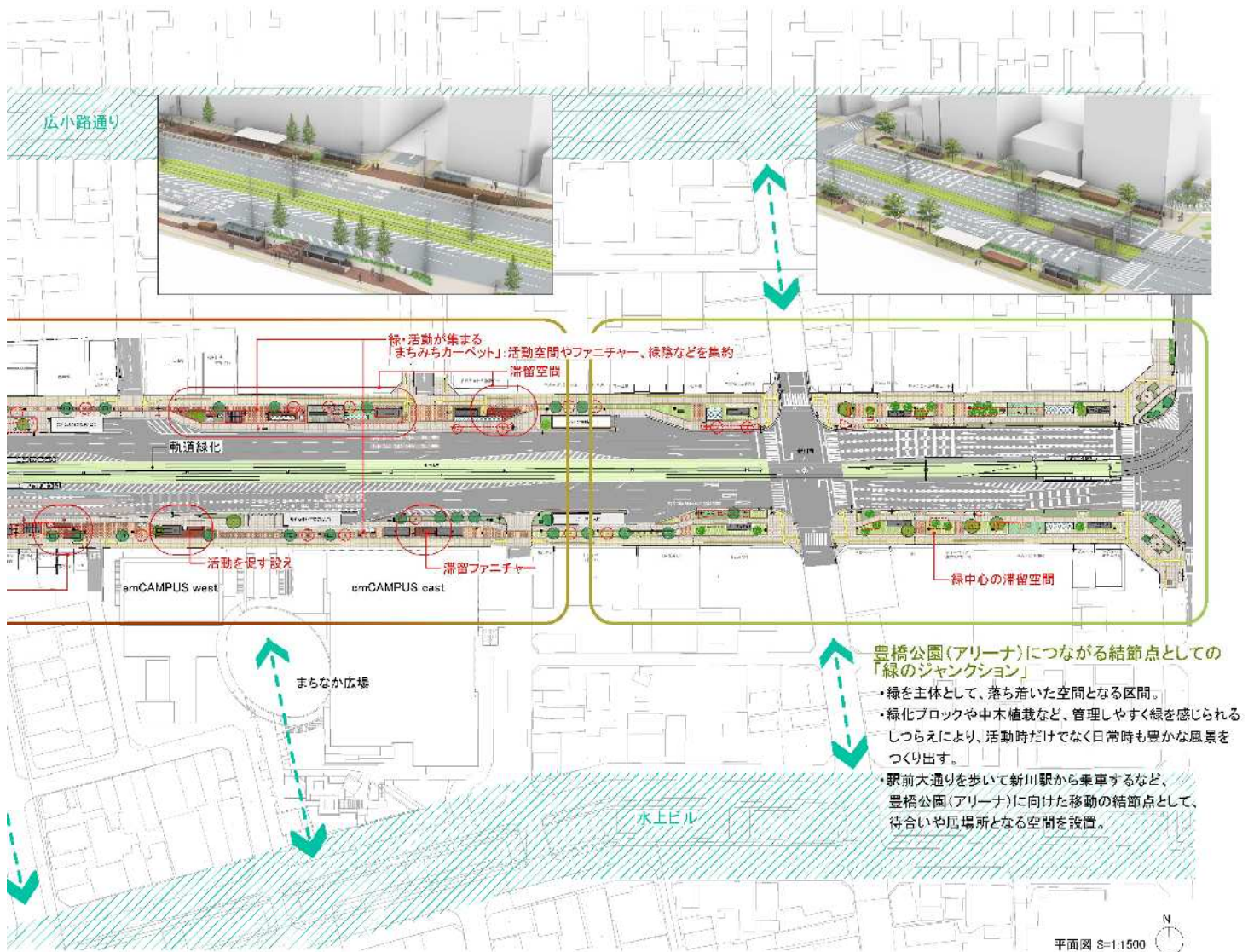
1. 歩行者に優しい通り

- …子供から高齢者まで誰もが歩
- …滞留・休憩空間の充実（ベン
- …夜間景観の向上・演出（既存

2. 様々な利活用が可能な通り

- …利活用を促すしつらえや設備
- …子育て世代がゆっくり過ごせ
- …水上ビルや広小路など周辺エ

る豊橋のシンボル「とよはしグリーンコリドー」



歩きやすく安全な通り (舗装の改修)
ベンチ、緑陰、デッキなど
照明の更新、演出照明の設置)

3. 多様なモビリティを支える通り

- …自転車走行ルート of 空間改善、安全性向上
- …路面電車を活かす工夫、アクセスや景観の向上
- …わかりやすく、滞在・活動しやすいバス停留空間の確保

青、仕組みの検討
る利活用空間の充実
エリアとの連携向上

4. 街のシンボルとして 一体性のある景観・ランドスケープ

- …低管理緑地を減らし、居場所となる緑へと更新
- …景観や歩きやすさ、緑陰に配慮した高木の検討
- …付帯施設の修景、改修

■豊橋駅～emCAMPUS

ゾーンのコンセプト：
活動と滞在のエリア

■デザインのポイント

- ・ 駅からつながるまちの玄関口として、積極的な空間活用を目指す。
- ・ 歩道空間と自転車通行空間を除いた、利活用や滞在が可能なエリアは舗装の切り替えや統一した色彩により分かりやすく象徴的なデザインを検討する。
- ・ 沿道施設やまちなか広場との結びつきを高め、活動や滞在を支えるデッキやファニチャー、緑陰空間を設置する。

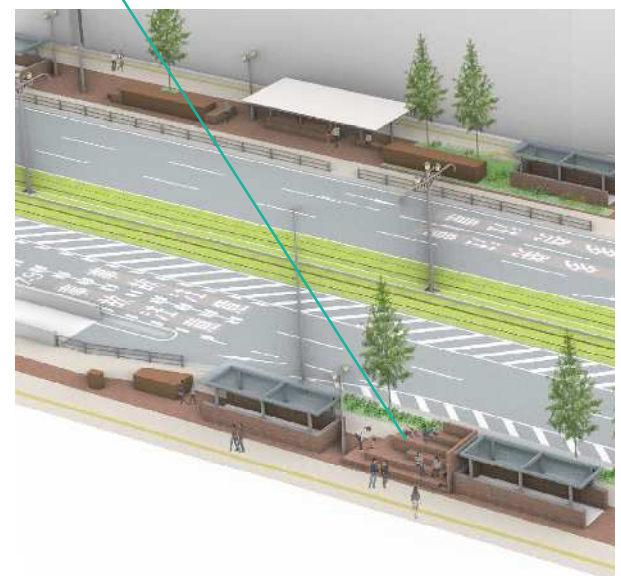


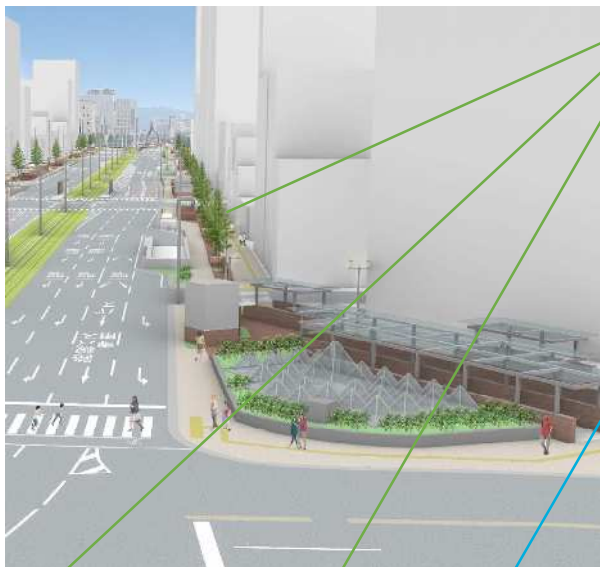
■滞留空間の配置及びデザイン

- ・ ベンチの配置は、交差点部やバス停周辺など信号やバス待ちを兼ねた休憩スペースとなる場所の他、沿道環境やニーズを踏まえて効果的な活用が期待できる場所を基本方針とする。
- ・ 歩行者が気軽に利用できるよう、温かみのある天然木材の座面を用いた固定式ベンチを100m程度の間隔を目安に配置する。
- ・ ベンチのデザインは、多様な過ごし方や活動を促すよう多様なものとする。例えば、中木や低木が一体となった「植栽樹ベンチ」や「植栽樹と一体となったベンチ、ファニチャー」、滞留に特化した「ファニチャーベンチ」などを検討する。
- ・ 滞留空間では、間接照明の配置による夜間の安全性や居心地の良さを創出する。



多様な滞留空間のイメージ





■街路樹・植栽

- 豊橋駅のデッキからの印象的な見え方に配慮した緑量を維持しつつ、維持管理面にも配慮して全体としての緑量は減らし、親しみやすく質の高い緑に更新する方針とする。
- 交差点部や滞留を促す場所では、夏場の暑さ対策や小さな居場所づくりのために、緑陰を創出する高木や親しみやすい中木・花卉等を配置する。



■地下施設出入口、換気塔

- 現状の換気塔は自転車通行空間からの視線の障害要因にもなっているため、切り下げを行うとともに、駅前大通りの統一感に配慮し、滞留空間と同じ赤茶色系の色彩による修景を検討する。
- 地下出入口は景観や見通しの向上のため、上屋の修景を行う。修景にあたっては、駅前大通りの統一感に配慮し、赤茶色系の色彩や都市的な印象を演出するコンクリートとガラスの組み合わせなどを検討する。



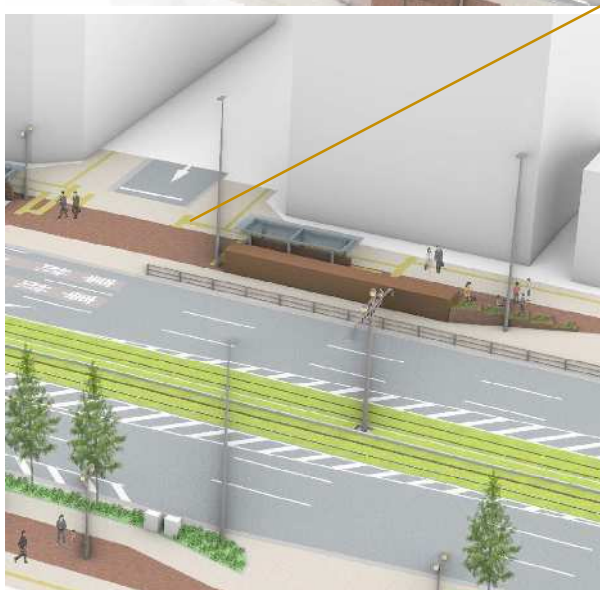
換気塔の改修イメージ



地下出入口の改修イメージ

■歩道舗装

- 歩行者、自転車の通行空間(一般部)の舗装は、ベビーカーを含めた歩きやすさの向上や、先行整備されたemCAMPUS前で用いられている明るいベージュ系のインターロッキングブロックとあわせることを基本とする。
- 利活用・滞在エリアの舗装は、子育て世代や高齢者など多様な利用者が日常的にゆっくり過ごせるよう温かみのある素材を基本とし、一般部の明るいベージュ系の舗装との対比や、緑や夜間景観(照明)との相性の良さを考慮し、赤茶色系のレンガ等を検討する。
- 従道路との取付部では、駅前大通りの空間の連続性の確保のため、歩道舗装を連続させることを検討する。
- 視覚障害者誘導用ブロックは、周辺路面との適切な輝度比を確保したうえで、駅前大通りの統一感に配慮し、周辺路面と調和した色彩の採用を検討する。また、分かりやすい配置への改善も検討する。



■emCAMPUS～新川交差点

ゾーンのコンセプト：
緑のジャンクション

■デザインのポイント

- 緑を主体として、落ち着いた空間となる区間を目指す。
- 緑化ブロックや中木植栽など、管理しやすく親しみやすい緑を感じられるしつらえにより、活動時だけでなく日常時も豊かな風景を創り出す。
- 駅前大通りを歩いて新川駅から市電に乗車するなど、豊橋公園に向けた移動の結節点として待合いや居場所となる空間を設置する。

■歩道舗装

- 歩行者、自転車の通行空間(一般部)の舗装は、ベビーカーを含めた歩きやすさの向上や、駅前大通りの一体感を創出するため明るいページュ系のインターロッキングブロックとあわせることを基本とする。
- 利活用・滞在エリアの舗装は、落ち着いた雰囲気を活かし、活動時だけでなく日常時も豊かな風景を創り出すよう緑化ブロック等を検討する。乗入れ部は、耐久性や全体の調和に配慮しレンガ舗装などを検討する。
- 視覚障害者誘導用ブロックは、周辺路面との適切な輝度比を確保したうえで、駅前大通りの統一感に配慮し周辺路面と調和した色彩の採用を検討する。また、分かりやすい配置への改善も検討する。



緑化ブロックによる滞留空間のイメージ

■街路樹・植栽

- 交差点部や滞留を促す場所では、夏場の暑さ対策として場所づくりのために高木などにより緑陰を創出する。
- 親しみやすい緑を感じられる中木植栽や、通り沿いに設置している「アゼリア(ツツジ)」の維持、配置を検討する。
- 市電の軌道緑化の延伸について、関係機関と調整する。



■地下施設出入口、換気塔

- 現状の換気塔は自転車通行空間からの視線の阻害要因にもなっているため、切り下げを行うとともに、駅前大通りの統一感に配慮し、滞留空間と同じ赤茶色系の色彩による修景を検討する。
- 地下出入口は景観や見通しの向上のため、上屋の修景を行う。修景にあたっては、駅前大通りの統一感に配慮し、赤茶色系の色彩や都市的な印象を演出するコンクリートとガラスの組み合わせなどを検討する。



換気塔の改修イメージ



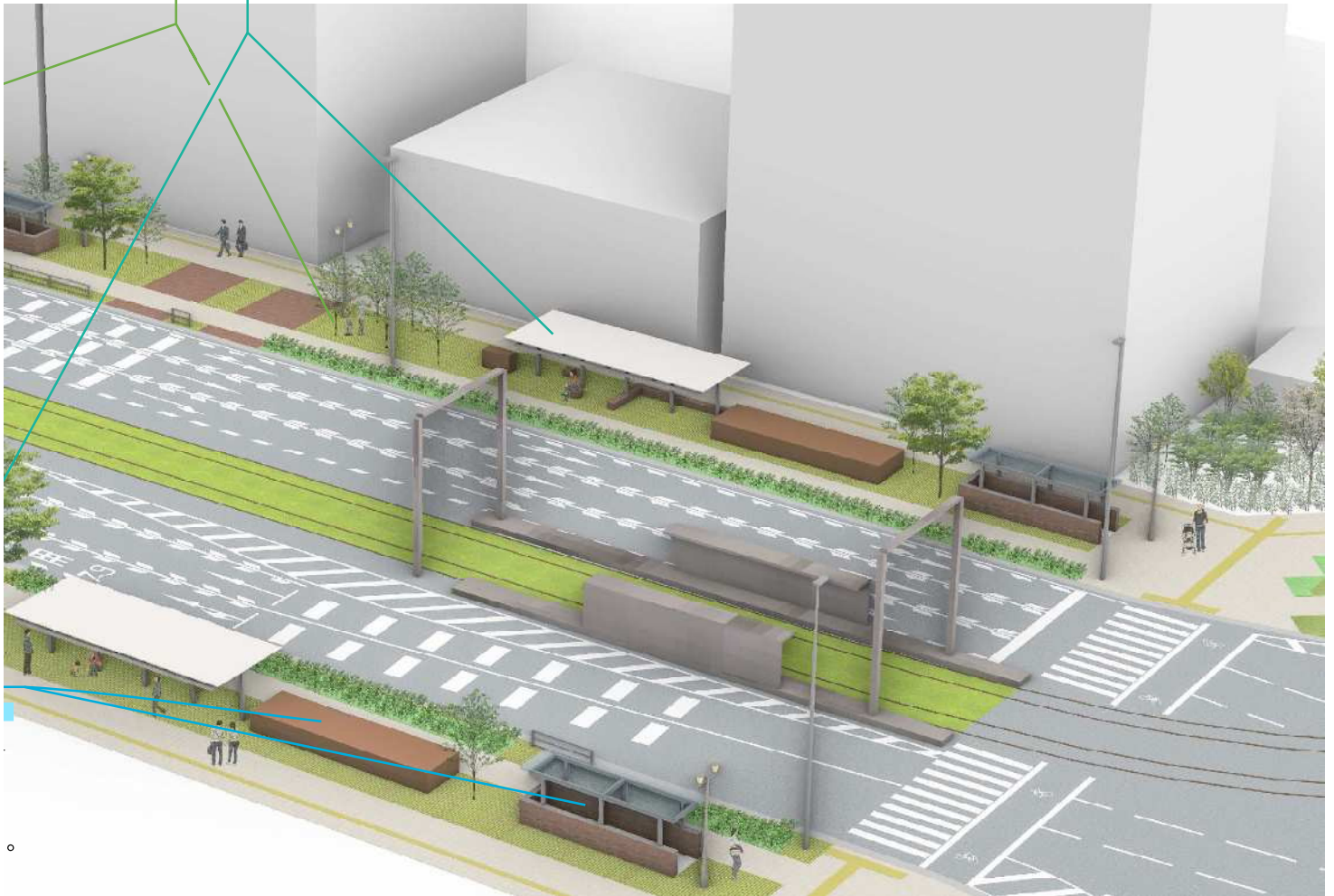
策や小さな居
る。
の愛称となっ
検討する。
整を行う。

■ 滞留空間の配置及びデザイン

- 歩行者が気軽に利用できるように、温かみのある天然木材の座面を用いた固定式ベンチを100m程度の間隔を目安に配置する。
- 市電の待合や思い思いに過ごす居場所となるベンチや屋根の配置を検討する。
- 滞留空間では、間接照明の配置による夜間の安全性や居心地の良さを創出する。



花園町通り(松山市)
滞留空間の間接照明のイメージ



地下出入口の改修イメージ

■ 銅像の考え方

- 銅像は、存置あるいは移設による配置の調整を検討するものとし、撤去しない。



既存の銅像

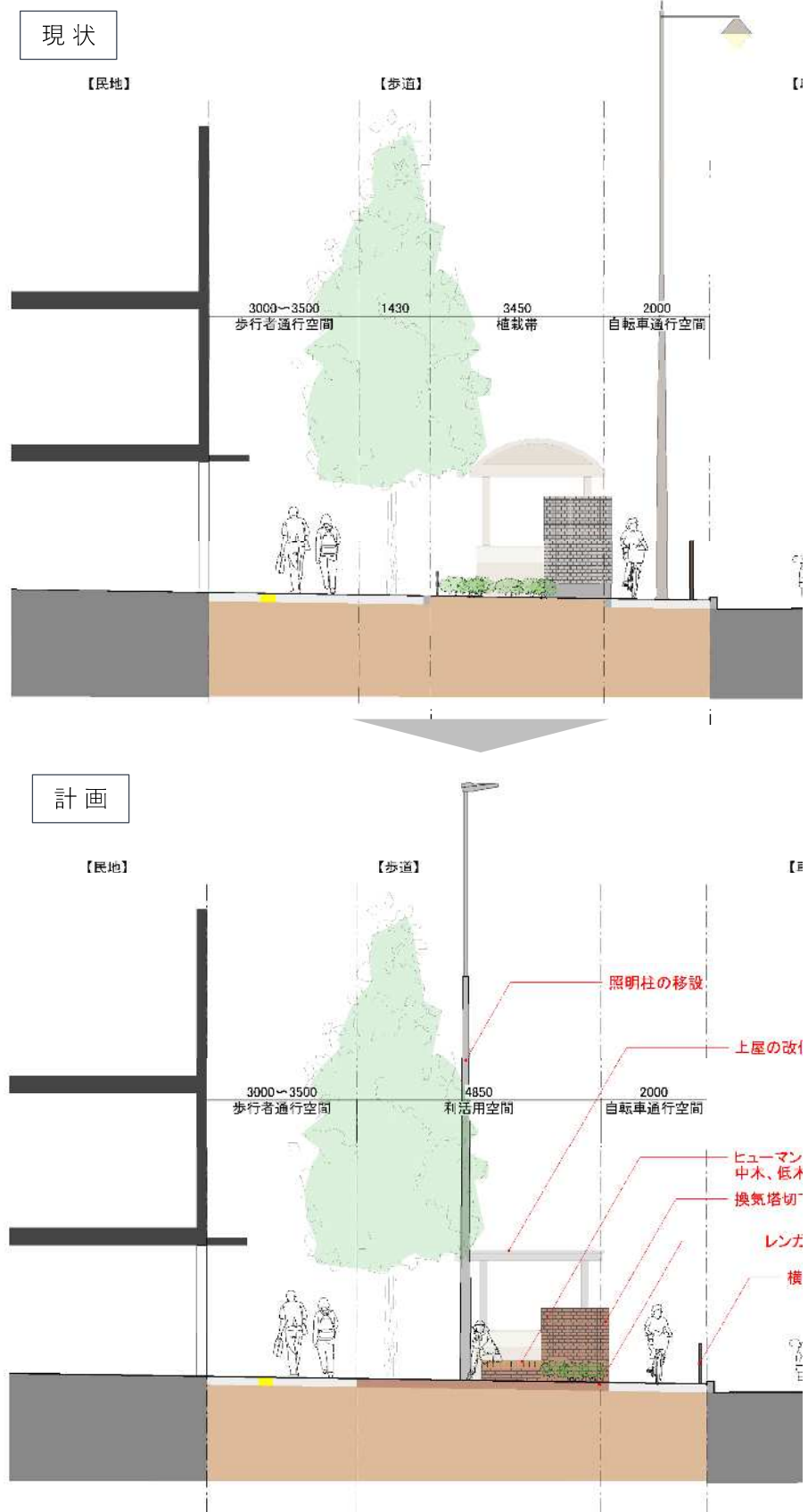
駅前大通り

3. 断面図

■道路構造

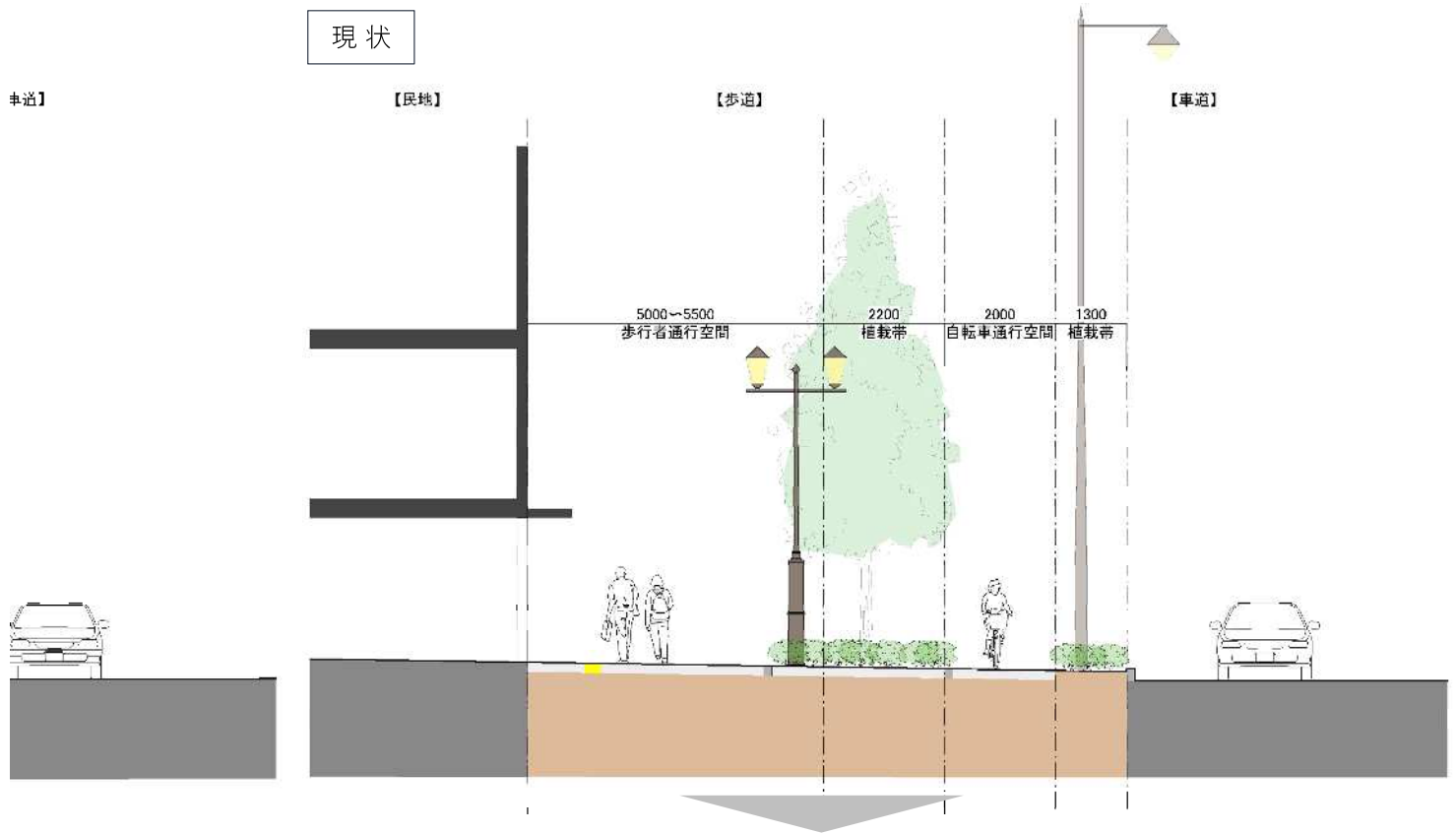
- 基本となる道路構造は、現在と同様の幅員構成とし、両側11.0mの歩道を対象に計画する。
- 現状の歩行者通行空間（W=3.0～3.5m）、自転車の通行空間（W=2.0m）の位置や幅員は維持することを基本とする。
- 植栽帯や植樹樹、地上機器、地下施設への階段などが配置された施設帯の約5.0mを、利活用や滞留を促す利活用空間に再編する。
- 道路灯は、自転車通行の妨げになっているものを対象に移設を行う。
- 安全施設の配置については、関係機関協議も踏まえ、安全性と利便性の高い構造を引き続き検討する。

■断面図：豊橋駅～emCAMPUSの区間「活動と滞在のエリア」

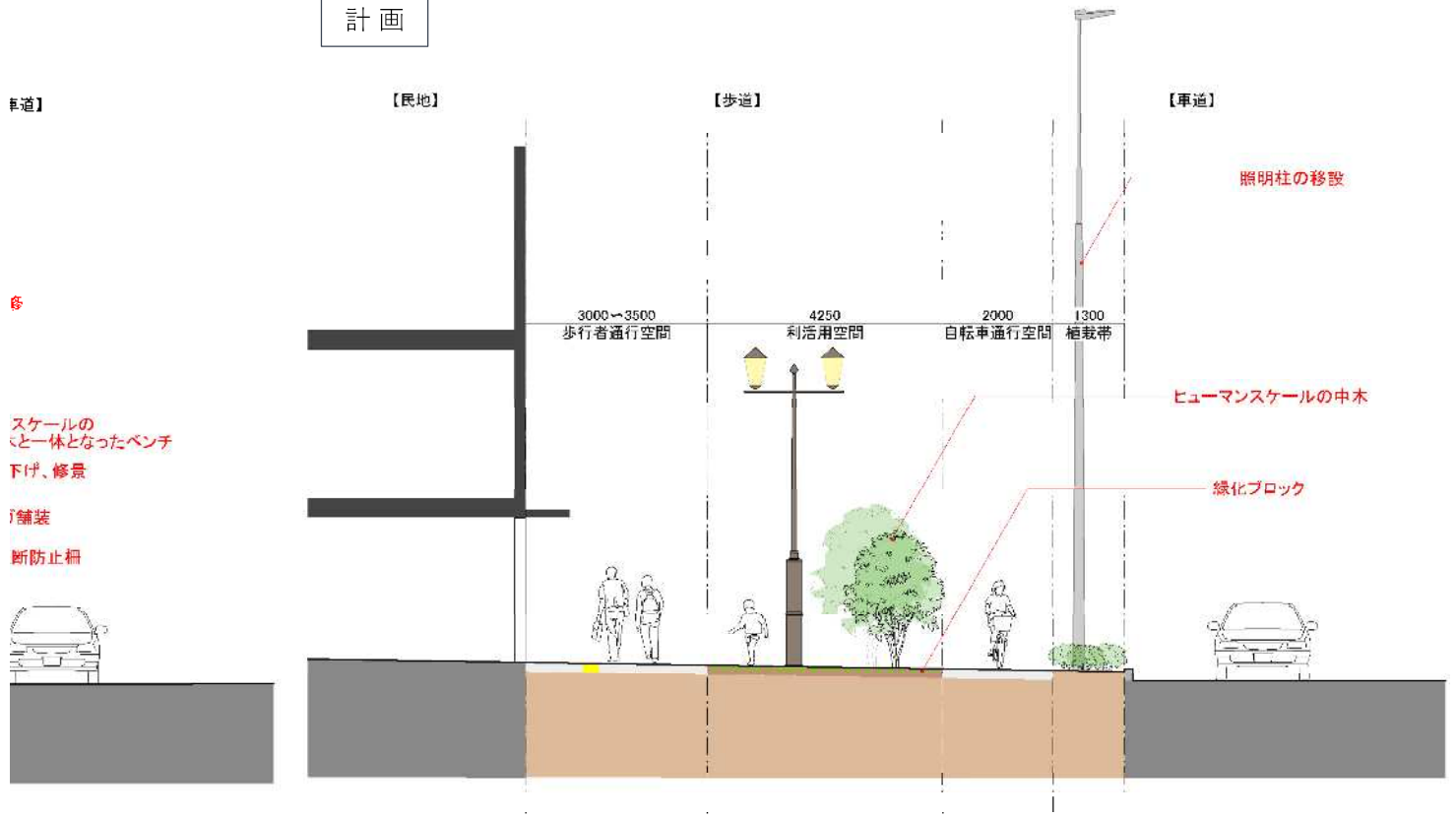


■断面図：emCAMPUS～新川交差点の区間「緑のジャンクション」

現状



計画



本計画の内容は、実現の可能性を考慮したものではなく、まちづくり関係者や沿線関係者の想いを反映して作成したものです。
今後は、道路管理者である愛知県と連携しながら、計画の内容から可能な範囲で取組みを進めるよう努めていきます。
また、将来駅前大通りの再整備を検討する際には、コンセプトやデザインなど本計画の内容を活用することとします。

令和6年2月

発行：豊橋市

問合せ：豊橋市 都市計画部 まちなか活性課

〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目10番地

TEL 0532-55-8102

FAX 0532-55-8100